



<来週の資金需給予想とイベント予定>

(単位：億円)

日付	資金需給予想			主な要因	オペ期日	オペスタート	イベント
	銀行券要因	財政等要因	資金過不足				
8/14 (月)	+ 400	+ 200	+ 600	国庫短期証券 発行・償還 (3M)	国債補充供給 + 29,100		
8/15 (火)	+ 1,000	+ 68,000	+ 69,000	個人国債発行・償還 年金定時払い 源泉所得税 揚げ			日：GDP (4~6月速報)
8/16 (水)	+ 1,000	▲ 28,000	▲ 27,000	国債発行(5年)	共通担保 (全店) ▲ 5,000		米：FOMC議事要旨 (7月25,26日開催分) 欧：ユーロ圏GDP (2Q)
8/17 (木)	▲ 2,000	+ 1,000	▲ 1,000				日：貿易統計 (7月)
8/18 (金)	▲ 1,000	▲ 12,000	▲ 13,000	国債発行(20年)			日：全国消費者物価指数 (7月) 欧：ユーロ圏CPI (7月)

<インターバンク>

日銀当座預金残高は週初7日、535兆9,500億円から始まった。その後は国債の発行等により、535兆1,500億円まで減少し、10日には国債買入オペや各種財政資金の支払い等により、538兆3,600億円まで増加し越週した。

無担保コールON物加重平均金利は週初7日、週末要因の剥落もあり、前営業日比▲0.003%の▲0.075%から始まった。その後もビッドサイド動向に大きな変化はなく、同金利は横ばい圏での推移となった。4日積みとなる10日は一部先にて積極的な調達姿勢も見られ、同金利は前営業日比+0.002%となる▲0.072%まで上昇し、越週した。ターム物は、オファーサイドの放出ニーズが限定的であり、閑散としていた。

来週の主な予定は、国内では15日にGDP速報値 (4月~6月) の公表、18日に全国CPI (7月) の公表などがあり、海外では16日にFOMC議事要旨 (7月25・26日開催分) の公表、18日にユーロ圏CPI (7月) の公表などが予定されている。

[無担保コールレート]

	予想レンジ (%)
O/N	▲0.087 ~ 0.001
1M	▲0.060 ~ 0.0100
2M	▲0.040 ~ 0.050
3M	0.000 ~ 0.130
6M	0.000 ~ 0.150

<レポ>

足許GCは週初▲0.10%近辺から出合い始め、▲0.14%~▲0.12%まで低下した。国債買入オペがオファーされた9日の取引では、一時▲0.15%近辺の出合いが見られた。短国の入札があった10日の取引は、▲0.11%~▲0.09%に上昇した。SC取引は2年438~451回債、5年149~159回債、10年350~371回債、20年180~185回債、30年65~79回債、40年13~16回債などに引合いが多く見られた。

[オープン市場]

	予想レンジ (%)
現先 (on/1w)	▲0.050 ~ 0.000
CP 3M	0.000 ~ 0.010

<CP>

今週の入札発行総額は約7,000億円で、週間償還額 (約6,000億円) を上回った。発行市場は、夏季休暇の影響で案件数が限定的であったものの、機械や石油製品業態で大型の発行があり、発行超となった。発行残高は前週末の28兆2,144億円から9日時点で28兆3,055億円と増加した。発行レートは概ね0%からプラス圏での出合いが中心であった。9日にCP等買入オペが予定通り4,000億円でオファーされた。結果は、按分レート△0.002% (前回0.000%)、平均落札レート0.006% (前回0.005%) と按分レートが前回比で低下した。

来週の週間償還額は、約4,600億円となっている。発行市場は、夏季休暇を迎え落ち着いたマーケットとなることを予想する。発行レートは、0%近辺での出合いが中心となることを予想する。

<TDB>

9日の6M (1174回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1423% (前回債▲0.1744%)、平均落札利回り▲0.1618% (前回債▲0.1843%) となった。10日の3M (1175回債) の入札は、最高落札利回り▲0.1042% (前回債▲0.0962%)、平均落札利回り▲0.1110% (前回債▲0.1014%) となった。

来週は17日に1Y、18日に3Mの入札が予定されている。

本資料は投資環境等に関する情報提供を目的として作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。有価証券等の取引には、リスクが伴います。投資についての最終決定は、投資家ご自身の判断と責任においてなされるようお願いいたします。当社は、いかなる投資の妥当性についても保証するものではありません。記載された意見や予測等は作成時点のものであり、正確性、完全性を保証するものではなく、今後予告なく変更されることがあります。